

～このような質疑を行いました～

本会議から各常任委員会に付託された議案などについて、慎重に審査しました。
市に対する主な質疑をお知らせします。

文教常任委員会

条例1件、予算1件について審査しました。

彩都の丘小中一貫校増築等事業について

- 問 今回の補正予算の内容は。
- 答 児童生徒数増加に対応するため、学園委員会室とパソコン教室を普通教室にし、教室数を確保する。
- 問 教室の転用で、子どもは不自由な思いをしないか。
- 答 学園委員会室は一時的なもので、特別教室の活用など、変わりなく活動できるよう校内で工夫する。パソコン教室は一時的ではないが、彩都の丘学園ではタブレットパソコンを使用しており問題ない。
- 問 今後の学級数の伸びと教室確保の見通しは。
- 答 今回の補正予算で、平成28年度の学級数増加に対応する。平成29年度以降も学級数は増加し、平成36年度頃には学級数が53を超え、ピークを迎える見込みであり、現在、増築計画を進めている。

学校給食会業務の委託について

- 問 農業公社に委託する業務内容は。
- 答 食材の調達、学校との調整などの給食運営事務。
- 問 農業公社は、地元の利便性から地産地消に力を発揮することは分かるが、地元産で賄えない食材について、水準を落とさずに発注できるのか。
- 答 これまでどおり市、農業公社、学校、保護者などが一体となって取り組み、品質は低下させない。
- 問 学校給食で工夫していることは。
- 答 農業者や農業公社の野菜の生産見通しをもとに、全て給食で使えるよう献立を工夫している。更に旬の野菜を取り入れやすくするため、平成27年度2学期から小・中学校、小中一貫校の、主菜や副菜など、おかず部分の献立を統一する予定。



民生常任委員会

予算4件について審査しました。

自動交付機改修事業について

- 問 改修の内容はどのようなものか。
- 答 マイナンバー制度の実施により住民基本台帳システムとの連携部分を改修する。
- 問 今の自動交付機のリース期間が切れた後はどうなるのか。
- 答 コンビニでの証明書交付の検討を始めている。
- 問 コンビニの自動交付機に移行するとしたら、現在の自動交付機で発行している証明書は、全て交付されるのか。
- 答 正式な決定はしていないが、現在のメニューを全て盛り込むことは可能である。



特別会計介護保険事業費繰出金について

- 問 保険料が激変し、高所得者の負担が増加したが、市民への周知なり説明はしたのか。
- 答 広報紙で保険料についての記事を掲載させていただくとともに、保険料の決定通知時の問い合わせには丁寧に説明を行い、理解を得ていきたいと考えている。

高齢者用肺炎球菌予防接種について

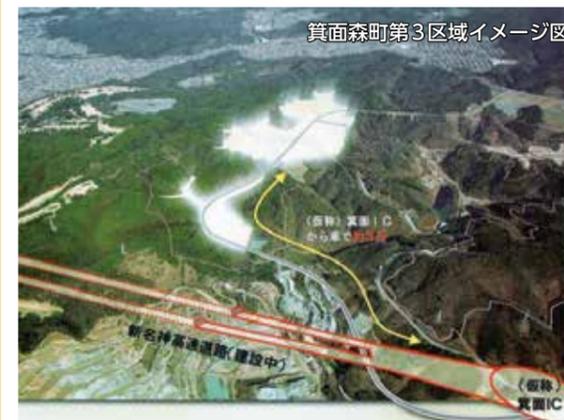
- 問 平成26年度の接種率は47%だったが、見解は。
- 答 北摂7市で4番目の接種率だったが、今後も接種率を向上させるため、広報に努める。
- 問 接種費用の自己負担額に差があることを、医療機関に情報提供できないか。
- 答 医師会に対して、ほかの予防接種も含めて状況説明をしていきたいと考えている。

建設水道常任委員会

条例4件、予算4件、その他1件について審査しました。

箕面森町の第3区域のまちづくりについて

- 問 めざまちのイメージは。
- 答 新名神高速道路(仮称)箕面インターチェンジ直近という立地特性を生かし、広域対象の商業系施設や流通・物流系施設を主体としたエリアをめざす。また、工場的施設を排除して、環境共生もはかり、商業系は大規模店舗などを、流通・物流系は自社倉庫やマルチテナントを想定。
- 問 バランスのとれたまちづくりに向けたルールは。
- 答 箕面森町にふさわしくないパチンコ店やキャバレーなどの風俗営業関連施設や、商業環境と調和しない住宅系の建物を制限。
- 問 用途制限の緩和により立地が想定される施設は。
- 答 通信販売やインターネットなど販路の多様化により、店舗で販売する分のみ在庫を置くだけでなく、倉庫型店舗のような在庫機能を充実させる動きが出ている。このような時代に即した施設の立地が可能となるように、商品集積量及び作業床面積の制限を緩和する。



- 問 企業誘致の状況は。
- 答 主体の大阪府と本市が連携協力しており、大阪府による企業募集に36社からエントリーがあった。
- 問 茨木市エリアの彩都の中部地区で、アメリカの物流施設の大手であるプロロジスが起工されたという新聞報道があった。近隣での誘致競争を懸念するが、ほかにも企業誘致の動きがあるのか。
- 答 近隣市の企業誘致状況として、茨木市のほかに、兵庫県川西市でも物流施設立地の計画があるという情報を得ている。

総務常任委員会

条例5件、予算1件について審査しました。

マイナンバー法に基づく個人番号の利用と特定個人情報の提供について

- 問 マイナンバー制度による市民のメリットは何か。
- 答 行政事務の効率化により、処理に要する時間の短縮が期待できるほか、これまで窓口での申請時に添付が必要であった書類が不要となる場合もあるなど負担軽減にもつながる。
- 問 自分の情報が何に使われているかを知る方法は。
- 答 他の行政機関とのやりとりに関しては、マイポータルというサイトが平成29年1月から運用開始予定で、いつ、誰がどういう情報を提供、照会したのかが確認できる。
- 問 今まで以上に個人情報を守るための対策は。
- 答 安心・安全の確保のために、制度面では、情報漏えいや盗用に関する罰則の強化や第三者機関による監視監督の実施、システム面では、個人番号を使わずに符号を用いた情報連携、情報の分散管理、アクセス制限などの保護措置が講じられる。

水防整備事業について

- 問 昨年の豪雨で箕面三丁目などで浸水被害が発生したが、オケ原川雨水バイパス管流入口の対策は。
- 答 ごみ防止柵が詰まったことが原因と考え、流入口が多少詰まってもバイパス管に流入が継続するように、現在の倍の流入口を設ける。
- 問 流入部付近の橋への対策並びに川底の掘り下げによる断面拡張についての市の考えは。
- 答 当該橋も詰まりの一因になったと考えられるので、対策の必要性を検討する。川底は、下部の状態が不明のため、試掘の上、対応策を検討する。

